

経営動向調査

research of management trend

Vol.19

先行きの不透明感により、業況感に厳しき強まる

～業況DIが対前期比15ポイント悪化～

調査対象期間

平成13年

1月～3月

(平成12年度第4四半期)

(本調査に関するお問い合わせ先)
熊本商工会議所 情報調査課
TEL354-6688

〈結果概要〉

全業種の業況DIは、対前期比(平成12年10月～12月)で平成12年12月期の前回調査よりも15.0ポイント悪化しマイナス40.8ポイントとなった。なお、対前年同期比(平成12年1月～3月)は平成12年12月期の前回調査に対し13.4ポイント悪化し、マイナス41.8ポイントだった。

期待された年度末需要は、その効果が業況を好転させるには至らず、多くの業種において売上高の減少、営業利益の悪化がみられた。全体としては、業況DIが前期比、前年同期比ともに悪化しており、来期の業況見通しも悪化するなど、厳しい雇用情勢等による個人消費の低迷、株安などの経済・政治不安もあって、先行きの不透明感が強まっていることをあらわす結果となった。

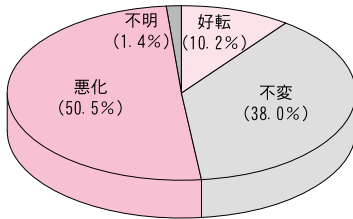
調査対象

熊本市内小規模
企業304事業所と
FAXネットワーク

(小規模企業とは、商業・サービス業は従業員5人以下、それ以外の業種は20人以下の企業のこと)

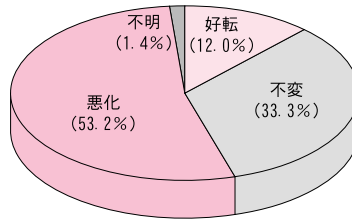
全産業の業況 (H13/1～3月)

対前期比
(平成12年10月～12月)



DI = ▲40.8 (前回▲25.8)

対前年同期比
(平成12年1月～3月)

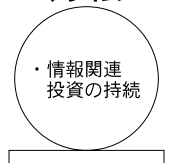


DI = ▲41.8 (前回▲28.4)

悪化



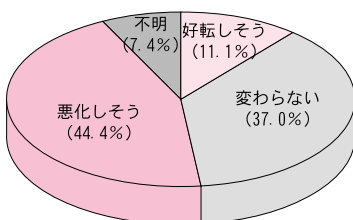
好転



来期(平成13年4月～6月)イメージ

来期の業況見通し

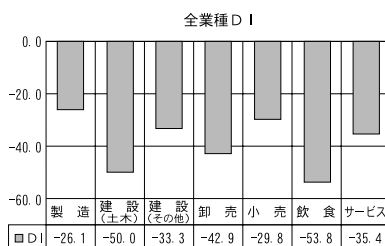
(平成13年4月～6月)



DI = ▲36.0 (前回▲22.9)

(産業別) 来期の業況見通し

DI = (好転企業割合) - (悪化企業割合)



来期(平成13年4月～6月)の見通しについて

全産業における来期(平成13年4月～6月)の業況見通しDIは、前回調査から13.1ポイント悪化し、マイナス36.0ポイントの結果となった。

業種別では、情報関連需要が鈍化している製造業がほぼ横ばい以外は、先行きの不透明感、個人消費の低迷、公共工事減少への危惧などによってほとんどの業種で、来期見通しが悪化した。

産業別概況

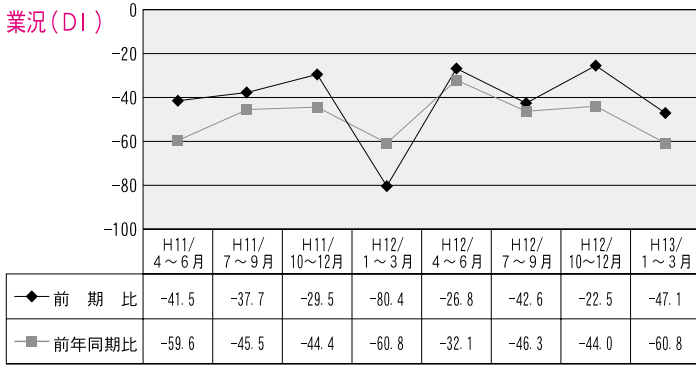
建設(職別)以外は厳しい業況感

製造業は売上高、受注単価、営業利益ともに厳しく、業況感も悪化。建設業(土木)は、雇用面と受注単価がやや改善したが、売上高減少が大きく影響し、業況感の厳しさが継続。建設業(職別・設備)は、売上高の減少があるものの、仕入単価及び受注単価、営業利益にやや改善がみられ、業況感はやや改善。卸売業は、仕入単価は改善されたが、営業利益が悪化し業況感もやや悪化。小売業は、販売単価に改善がみられるが、売上高の減少により、業況感に厳しさが増している。飲食店は、仕入単価は改善したが、前回の季節的要因の反動もあって、業況感は大きく悪化。サービス業は、売上高の減少及び販売単価の低迷により、営業利

産業別業況DI(対前期比)

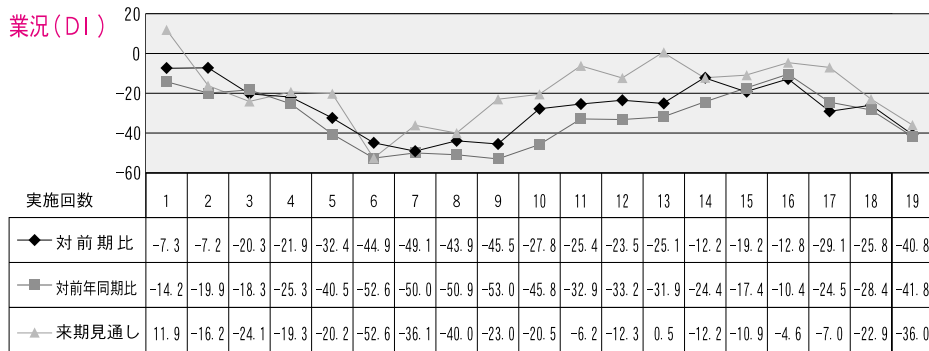
	今回分 (H13.3月期)	前回分 (H12.12月期)	比較ポイント
製造	▲40.0	▲13.3	▲26.7
建設(土木)	▲35.7	▲23.5	▲12.2
建設(職別)	▲20.0	▲28.0	+ 8.0
卸売	▲44.8	▲40.6	▲ 4.2
小売	▲58.0	▲32.7	▲25.3
飲食店	▲50.0	0.0	▲50.0
サービス	▲33.3	▲22.7	▲10.6

小売業(売上高DI)



『景気の底』見えたはずだが、左の折れ線グラフは、小売業に関する最近二年八期分の「売上高DI」の推移。平成十二年三月期に前前期比マイナス八十と「危機的状況」まで追い込まれ、いったんは「景気の底」を感じさせた。しかし、その後は悪化と改善を繰り返す「踊り場的な」状況となっており、次回六月期結果で横ばいあるいは悪化になると『新たな景気の底を探す展開』になりかねない状況が懸念される。

業況DIの推移を見る



コメントピックアップ

インターネット取引の普及による影響を懸念

- ・ インターネットの普及・不景気が影響し、受注量が減り、受注単価の悪化もあって、利益が出ない(製造業)
- ・ 業界での勝ち組、負け組の差が激しくなり、特殊な技術かシェアがないと生き残りは難しい(建設業)
- ・ 相変わらず仕事量は少ないと思われるが、増設・リニューアルは増加傾向にある(建設業)
- ・ 好転の要素が見当たらない。好調といわれているIT産業においても、アメリカの景気悪化が顕著になってきているので、ますます悪化する気配(卸売業)
- ・ デイスクラウド店の進出で客数が大幅にダウン。専門店プロのアドバイザーとして地域のオンリーワンを目指して頑張りたい(小売業)
- ・ 企業診断で改善策等を聞いて、外部専門家の意見が勉強になった(サービス業)

本調査に、ご協力いただいております協力企業(モニター)様には心より感謝申し上げます。
今後とも身近なご意見、情報をお聞かせください。